

## 広島県南西部におけるオオタカの営巣環境

藤野 徹<sup>1)</sup>・上野吉雄<sup>2)\*</sup>

<sup>1)</sup> 中国水工株式会社・<sup>2)</sup> 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会

### Nest Site Characteristics of Northern Goshawk *Accipiter gentilis fujiyamae* in the Southwestern Part of Hiroshima Prefecture

Tohru FUJINO and Yoshio UENO

#### はじめに

オオタカ *Accipiter gentilis* は、アラスカ、カナダ、スカンジナビア、シベリアの森林限界近くから、アメリカ大陸では、カリフォルニア、メキシコ北部、ペンシルバニアまで、旧大陸ではモロッコ、サウジアラビア、イラン、チベット、日本までの北半球の広い地域に分布している (Brown & Amadon 1968)。

日本国内に分布するのは亜種オオタカ *A. g. fujiyamae* で、南西諸島を含む島嶼部を除き、全国的に繁殖が確認されているが、生息数も少なく、四国・九州地方では繁殖記録のない県もある (日本鳥学会 2012)。

広島県では全県的な分布調査は行われていないが、非公表ながら各地で繁殖情報がある。鳥類を捕食する生態系上位種であることから、個体数は多くないが、県内各地の比較的発達した二次林で繁殖していると考えられる。しかしながら、県内の沿岸部から中央部では、広く森林の乾燥化やマツ枯れが進行し、生息適地である二次林が荒廃し、さらに、マツ枯れによって営巣に適したアカマツ *Pinus densiflora* の大木も減少している (井原 2012)。

本報告は、希少種であるオオタカについて、広島県南西部における繁殖状況を明らかにすることを目的とした。



図 1 広島県南西部のオオタカの営巣地 (2010 年～ 2018 年)

表1 オオタカ営巣地と確認状況

確認番号	営巣地	営巣木	確認年月	確認状況
1	廿日市市大野	アカマツ	2015年7月	巣立ち幼鳥2羽
2	広島市佐伯区	アカマツ	2011年6月	巣内雛1羽
3	広島市佐伯区	アカマツ	2017年3月	交尾, 巣材運搬
4	広島市安佐南区	モミ	2016年6月	巣立ち幼鳥1羽
5	広島市安佐北区	アカマツ	2012年6月	巣内雛1羽, 巣立ち幼鳥1羽
6	広島市安佐北区	アカマツ	2011年3月	巣材運搬
7	東広島市志和町	アカマツ	2016年7月	巣立ち幼鳥1羽
8	東広島市八本松町	アカマツ	2010年6月	巣内雛2羽
9	東広島市黒瀬町	アカマツ	2016年3月	交尾, 巣材運搬
10	安芸郡熊野町	アカマツ	2015年7月	巣内雛2羽
11	呉市焼山	アカマツ	2017年3月	交尾, 巣材運搬
12	安芸高田市吉田町	アカマツ	2011年6月	巣内雛1羽
13	東広島市志和町	スギ	2018年3月	交尾, 巣材運搬
14	安芸高田市向原町	アカマツ	2013年3月	交尾, 巣材運搬
15	東広島市高屋町	アカマツ	2010年7月	巣立ち幼鳥1羽
16	東広島市福富町	アカマツ	2017年4月	交尾, 巣材運搬
17	東広島市豊栄町	アカマツ	2015年6月	巣内雛3羽

## 方法

オオタカの繁殖状況の調査は、2010年3月から2018年3月にかけて、広島県南西部で行った。オオタカの観察は、双眼鏡（10倍程度）、望遠鏡（40倍程度）を用いて行った。

広島市（安佐北区・安佐南区・佐伯区）、東広島市（黒瀬町・志和町・高屋町・豊栄町・八本松町・福富町）、安芸高田市（向原町・吉田町）、廿日市市大野、呉市焼山、安芸郡熊野町において、アカマツ林を主体とした森林地帯の自動車道路を走行しながら、観察しやすい地点で自動車を止め、オオタカを探索した。オオタカが発見された場合には、営巣期に再度訪れ、営巣状況の確認に努めた。

## 結果

図1に、2010年から2018年にかけて確認した県南西部におけるオオタカの営巣地について示す。また、表1に、オオタカの営巣地と確認状況について示す。

2010年から2018年にかけて、オオタカの営巣地を確認した場所は、広島市（安佐北区・安佐南区・佐伯区）、東広島市（黒瀬町・志和町・高屋町・豊栄町・八本松町・福富町）、安芸高田市（向原町・吉田町）、廿日市市大野、呉市焼山、安芸郡熊野町の17か所であった。営巣環境は、アカマツ二次林が15か所、スギ・ヒノキ植林が2か所であった。営巣木は、アカマツが15か所、スギ *Cryptomeria japonica* が1か所、モミ *Abies firma* が1か所であった。

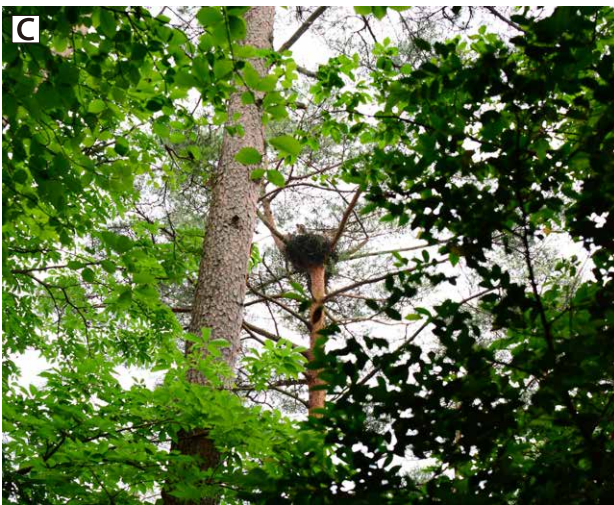
本調査結果は、広島県内全域を調査したものではないが、2020年度は広島県のレッドデータブック改訂の年にあたり、オオタカの評価の基礎資料となることが期待される。

## 引用文献

Brown & Amadon (1968) Eagle, Hawks and Falcons of the World. Country Life Books, Feltham.

井原 庸 (2012) オオタカ. 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 (第3版) - レッドデータブックひろしま 2011 - : 74. 広島県

日本鳥学会 (2012) 日本鳥類目録 改訂第7版. 日本鳥学会, 三田



A: 営巣環境	安芸郡熊野町	2015年6月21日
B: 成鳥雌	広島市安佐南区	2016年6月11日
C: 巣の遠景	東広島市豊栄町	2015年6月24日
D: 巣内雛3羽	東広島市豊栄町	2015年6月24日
E: 巣内雛1羽	東広島市志和町	2015年7月8日
F: 巣立ち幼鳥	廿日市市大野	2015年7月2日